

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	建築企画小委員会	主 査 名：木多 彩子 就任年月：2013 年 3 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：石坂公一
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、先駆的な建築企画実践例を広く扱い、見学会の開催や調査研究活動を通して実践例の記録を残し、その評価軸のあり方を探求する。また、研究面の充実を図り、その成果をメディアで広く発信し、学問的な側面から社会的価値を重視した建築企画活動に寄与する。</p> <p>初年度(2013 年度)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成熟化社会に対応する「社会的価値創造を果たしながら、経営的合理性も独自の手法で獲得している社会的建築企画」というテーマを前小委員会から引継ぎ、獲得している研究費を活用して各種調査や研究会開催などの研究活動を進める。 ・昨年度までの活動成果である小委員会独自のHPの質を継続的に高める。 <p>2 年度 (2014 年度)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度までの研究成果をとりまとめ、学会等での研究発表を通じて広く成果報告を行うとともに議論を深める。 ・活動成果を踏まえた内容で次年度学会大会等でのシンポジウム開催を目指し、準備を進める。 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>木多彩子 (摂南大学) 上田正人 (阪急コンストラクション・マネジメント) 飯田匡 (大阪大学) 田中直人 (鳥取大学) 江本達也 (大鉄工業) 柏原士郎 (大阪大学・武庫川女子大学名誉教授) 中村洋平 (竹中工務店) 高田光雄 (京都大学大学院) 高井宏之 (名城大学) 所 千夏 (アトリエ CK) 萩原正五郎 (元大林組) 林弥寿子 (関西電力) 阪田弘一 (京都市芸繊維大学) 生川慶一郎 (京都市住宅供給公社)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>ビルディングエコノミックス WG：</p> <p>小委員会の活動の中で、特に、現在のストック活用社会に注目し、ストック活用社会における企画から運営に至る一連の建築活動を円滑に行うための基礎資料の作成を目的とする。</p>	
2013 年度予算	50,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/kikaku/index.html</p>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	<p>公開研究会：「グランフロント大阪－関西再生の鍵を握る大規模複合開発－のエリアマネジメント」 参加者数 18 名</p> <p>資料名：同上</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 達成度 70%程度 2. 活動計画に則って、小委員会の見学会を他団体（計画行政学会関西支部）との共催で行った。 3. 研究活動資金（科学研究費）をもとに、調査研究活動（事前不確定性を前提とした動的な建築企画実務プロセスの体系化）に着手した。 4. 研究活動資金（科学研究費）をもとに、ウェブを活用した活動成果発信メディアとして HP を一新した。 5. 今年度からの活動の柱の1つとしていたビルディングエコノミックス WG は、主査の諸般の都合により来年度以降に活動を先送りすることとなった。 <p>以上、2014 年度の活動を活性化するうえでの基盤は築けたと考える。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調査成果の評価方法の検討 具体的な建築企画・プロジェクト事例を社会的価値創造から評価する可能性を探るため、さまざまなクライテリア（評価軸・評価基準）と評価方法を検討。 2. 新 HP の一層の活用と活性化 特集記事の充実。見学会などの報告。研究成果の文章化と公表など。 3. 2015 年度開催予定のシンポジウムの準備／テーマ決め 4. ビルディングエコノミックス WG の効果的な運営。